

第2学年 生活科学学習指導案

授業者 大阪市立粉浜小学校 奥野 睦夫
天満 祥子

1. 日 時 令和7年6月26日(木) 第6校時(14:45~15:30)
2. 学年・組 第2学年1組 在籍28名 於:ふれあいルーム
3. 単 元 名 「ぐんぐん そだて わたしの 野さい」 内容(7)「動植物の飼育・栽培」
4. 単元目標

植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち大切にしようとすることができるようにする。

5. 単元で育てたい資質・能力(評価規準)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気づいている。	1 植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	1 植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。
2 植物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。	2 植物の特徴などを意識しながら、育ててみたい植物を選んだり決めたりしている。	2 よりよい成長を願って、繰り返し関わろうとしている。
3 生き物への親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。	3 植物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に着目して、観察したり世話をしたりしている。	3 植物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に応じて、世話をしようとしている。
4 ICT機器を使って分かったことをまとめ、友だちに伝えている。	4 植物の立場に立ってかわり方を見直しながら、世話をしている。	4 生き物に親しみや愛着をもったり、自分の関りが増したことに自信をもったりしたことを実感し、生命あるものとして関わろうとしている。
	5 育ててきた植物のことや心を寄せて世話をしてきたことなどを振り返り、表現している。	

6. 指導にあたって

(1) 子どもの実態

本学年の児童は、自然に関わる活動が大好きで、春の遠足ではシロツメクサを摘んで指輪を作ったり、タンポポを見つけたりしていた。1年生の時にアサガオやチューリップを栽培した経験があり、植物の成長には水

やりや支柱立てなどの世話が必要であることを学習している。

昨年度に栽培したアサガオでは、あさがおちゃんとあさがおぶらっくからの手紙を読んで、観察の視点や世話の仕方に気付くことができた。毎朝水やりに行ったり、アサガオの成長を観察カードに書いたりして、自分のアサガオを大切に育てていた。

夏休みはアサガオを家に持ち帰り、家庭で大切に世話をしてたくさんの花が咲いたそうだった。2学期にアサガオの様子を嬉しそうに話していた。花が終わるとアサガオからの種のプレゼントを受け取った。あさがおちゃんから種をどうしたらいいか「みんなで考えてほしい」とお願いされた。その種は、新入生にプレゼントすることに決め大切に保管した。

最後に、花が枯れ、種を採った後も最後まで大切にアサガオを育てたことから、「アサガオ、ありがとう」という思いをもって栽培活動を終えることができた。

2年生になってから、1年生の時に植えたチューリップと校内の春の動植物について観察する活動を行った。1年生の時の経験を生かし、児童は観察するものを見たり触ったり匂ったりして文章にまとめた。しかし、文章表現には個人差があり、特に観察して思ったことの内容に差が見られた。また、変化に気づける児童は少なかった。

(2) 単元の特徴

本単元は学習指導要領内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にしようとする」を扱う。ここでは植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心を持って働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付く単元である。本単元には次のような価値があると考えられる。

○自分が野菜の世話をすると野菜が成長し、満足感や達成感を感じることができる。

○「野菜を大きく育てたい。」「おいしい野菜が食べたい。」という思いを実現するために、自主的に育て方を調べようとする気持ちをもつことができる。

○野菜の様子や成長、変化や世話の仕方を伝える方法を身に付けることができる。

このように、植物を育てるにはたくさんの世話が必要なことや、植物の変化や成長の様子を知ることで植物には生命があり大切にしたいという思いから、この単元を設定した。

(3) 主体的な学びを実現するために

単元の導入では、児童が継続して野菜世話できるようにする必要がある。そのために、1年生でアサガオを栽培したことを思い出し、毎日の水やりや支柱を立てるなど世話が必要なことを思い出す。また、野菜に関する本を用意し、児童が主体的に野菜の世話の仕方を調べられるようにする。栽培を続けていく中で、「野菜を大きく育てたいな」「どんな世話が必要かな」という児童の願いや「まっすぐ立たない。困ったな」「虫がついた。どうしよう」という困ったことなどの意見がたくさん出てくることが考えられる。それらをカードに記録して共有できるようにする。そして、児童の願いを達成するために農家の方に助言を受けられるようにする。野菜づくりのプロに助言を受けることで、児童はより「立派な野菜が実るように世話をがんばろう」という気持ちになると予想される。

次に、ここまでの野菜の成長や世話の工夫、調べたり聞いたりして分かったことの発表会をする。これまでに記録してきた観察カードや写真を使い、友だちに伝えられるようにする。それぞれの世話を伝えたり、感想を言ってもらったりすることで、この後の栽培活動の意欲へつなげられると思われる。

野菜の収穫では、育てた野菜によって収穫時期が異なるので、事前に本で調べたり農家の方に聞いたりしたことを基に判断させる。収穫した野菜は家に持ち帰り、食べるようにする。家庭には事前に調理の協力を

依頼しておく。また、自分で育てた野菜をどんな調理をして食べたいかレシピを調べ、準備もしておく。そうすることでより収穫した喜びが増すはずである。

報告会では、同じ野菜を育てた児童どうしのグループで報告する。報告では、野菜の収穫までの様子、家で調理し食べたこと、世話についての感想を伝えるようにする。苦労して育てた野菜が生命をもっていることや成長していることに気づき、動植物を大切にしようという気持ちを養いたい。

7. 活動の流れ（全10時間 本時6/10）

学習の過程	【野さいを そだてよう】	【野さいの ようすを つたえ合おう】
① 思いや願いをもつ	① 野菜の苗を植える。 ② 観察したことを観察カードに書く。また、学習端末で写真を撮る。	③ 野菜を収穫する。 ④ 報告会をする。
② 活動や体験をする	（1）自分の知っている野菜を思い出し、自分が育てる野菜を決める。 ・ナス、オクラ、ピーマン、キュウリ、枝豆 （2）野菜の世話をする。 ・毎日水やりをするの大変だな。 ・花が咲いたよ。この後どうなるのかな。 （3）農家の人に話を聞く。 ・これからどんな世話をしたらいいのかな。	（7）収穫した野菜がどんな食べ方があるか調べる。 ・本にこんなレシピが載っているよ。ためしてみたいな。 （8）野菜を収穫する。 ・たくさん採りたいな。 ・友だちの野菜が採れたよ。私の野菜はまだかな。
③ 感じる・考える	（4）（5）観察したこと、農家の人に教えてもらったことをまとめる。 ・自分の野菜が成長したことを観察カードにまとめたよ。みんなに知らせたいな。 ・農家の人に自分の野菜について教えてもらったことを伝えたいな。	（9）これまでの活動を振り返り、報告会の計画を立てる。 ・野菜が大きく成長し、たくさん採れたよ。 ・お家でこんな料理をして食べたよ。
④ 行為する・表現する	（6）観察したこと、農家の人に教えてもらったこと、調べたことの途中報告会をする。【本時】 ・野菜がこんなに成長したよ。 ・自分の野菜はこんな世話が必要って農家の人に教えてもらったよ。 ・たくさん実がなってほしいな。	（10）世話したこと、収穫したこと、調理したことの最終報告会をする。 ・こんなお世話がよかったよ。 ・花が咲いたら実ができたよ。 ・野菜を使った料理を写真に撮ったよ。

8. 活動のイメージ

野菜の世話をすることで、植物が生命をもっていること成長することに気づき、植物を大切にしようとする気持ちをもつ。

体験3

野菜を収穫し、家に持ち帰り、調理して食べる。

- ・ やったあ！野菜が大きく育ったよ。
- ・ おいしそうな調理のレシピをみつけたよ。
- ・ 野菜を食べたよ。おいしかったよ。

表現3

これまでの栽培活動を振り返り、これまでの栽培のことをまとめ、発表する。

- ・ 自分の野菜についてたくさん伝えたいな。
- ・ 友だちの野菜も、おいしそうだな。
- ・ もっと野菜が育てたいな。

体験2

調べたこと、聞いたことを基に野菜の世話の仕方を考え、実践する。

- ・ 私の野菜はこんなに成長したよ。
- ・ 農家の人に世話の仕方を聞いたよ。
- ・ 写真がうまくとれたよ。

表現2

途中報告会を開き、自分が育てている野菜の成長や世話の仕方について話し合う。

- ・ 自分の野菜のことをみんなに伝えたいな。
- ・ どの写真をみんなに見せようかな。
- ・ 友だちの世話の仕方は、自分の野菜でもできるかな。

体験1

育てている野菜の観察をする。

- ・ どのように育つのかな？
- ・ 水やりがんばろう。
- ・ どんな世話をすればいいのかな？

表現1

野菜の様子を記録カードにかき、自分の野菜にあった世話の仕方について考える。

- ・ 葉や茎をさわったよ。野菜のにおいがしたよ。
- ・ 育て方で分からないことがあるな。どうしよう。
- ・ 野菜の成長をパソコンのカメラで撮るよ。

野菜を育てようという気持ちをもっている。

9. 本時の活動

(1) 本時について

児童は前時までに野菜の成長を写真や観察カードに記録したり、野菜の世話の仕方を本で調べたり農家の方に話を聞いたりしている。野菜は苗を植えてから6週間が経っているので、種類によっては花が咲いたり小さな実をつけたりしているものもあるだろう。また、世話に関しては支柱を立てることや肥料をやること、脇芽を摘むことを学習しているだろう。それらを育てる野菜ごとのグループでまとめた。

本時はそれらを友だちに報告する。指導者は児童の報告を板書に整理し、児童が自分の野菜と友だちの野菜を比べられるようにする。共通点や相違点を見つけ、これからの野菜の世話について考えられるようにする。

児童の報告については、写真や言葉だけでなく動画も利用させたい。動画で野菜の成長を具体的に伝えることで、より友だちに詳しく分かってもらえることを期待したい。また、事前に動画を用意することで発表に苦手意識をもつ児童も活躍できる場を作ることができると考えられる。

(2) 目標

自分の野菜の成長や変化、世話の仕方を報告し、自分の野菜と友だちの野菜の報告を比べることで、共通点や相違点に気付くことができる。

(3) 展開

○学習活動	・教師のコーディネート ●本時で育みたい資質・能力
○全員が育てているミニトマトの成長、世話を確認する。 ・苗を植えた。 ・支柱を立てた。 ・花が咲いた。 ○本時のめあてを確認する。	・水やり以外にもたくさん世話がかったことを確認する。 ・苗を植えた時よりも葉が増え、背たけも高くなりたくさん成長による変化があったことを、写真を見ながら振り返る。
ぐんぐん そだった やさいのようすを つたえよう	
○自分の野菜との共通点や相違点を見つける。	・各グループで事前に撮影した写真や観察カードを大型モニターで見せながら野菜の様子や世話について説明する。 ・野菜の様子は動画も用意する。 ・報告したことを野菜ごとに黒板で整理する。 ●【知②】野菜の様子や世話について、ICTを使って発表している。（発言） ・発表をまとめた板書を確認し見つけ、共通点や相違点をワークシートに記入するように伝える。 ・見つけたことは発表し、考えを共有できるようにする。
○本時の振り返りをする。 ・自分の野菜と同じところもあれば違うところもあるな。 ・これからも世話を続けていきたい	●【思①】自分の野菜と友だちの野菜の共通点や相違点に気づき、今後の野菜の世話に生かそうとしている。（ワークシート・発言）

な。 ・花が咲く野菜が多いな。 ・いつ実を採ることができるかな。	
--	--

（４）本時の板書計画

やさいのようすや お世話について つたえよう					
	キュウリ	ナス	ピーマン	オクラ	えだまめ
花	さく 黄色の花	さく むらさきの花	さく 白い花	さく うすきいろの花	さく 白い花
み	とれた みどり	とれた むらさき	とれた みどり	まだできていな い	まだとれない みどり
お世話	水はたくさん とちゅうで切 る	水はたくさん しちゅうをな なめに立てる わきめをとる	水はたくさん しちゅうをたて に立てる	水はやらない	水はやらない
おなじところ ・花がさく			ちがうところ ・しちゅうの立て方 ・わきめをとる ・花の色		

（５）ワークシート

ぐんぐんそだったやさいのようすをつたえよう
 2年 くみ ばん 名前（ ）
 自分のやさい
 ○にているところ

 ○ちがうところ

 ○これからしてみたいこと

